

一般社団法人 千葉県社会福祉士会
2022年度 第2回理事会議事録

1. 開催日時 2022年6月26日(日)10:00 ~ 12:15

2. 会場 千葉県社会福祉センターおよびZoomによるWeb併用会議

3. 出席者

会長	渋沢
副会長	山口(利)、宮本、吉澤
事務局長	榑林
事務局次長	及川、堀江
会員理事	(総務委員会 企画部会) 秦野 (総合相談委員会) 前田 (研修委員会) 長嶋 (ぱあとなあ委員会) 四ノ宮 (司法福祉委員会) 宮下 (災害対策委員会) 安藤、服部
外部理事	若林、山田
監事	山口(定)、市原
相談役	岡本(武)、常陸谷
オブザーバー	白井、浅見、松本、石橋、伊藤、高橋
欠席	谷口、山下、葛田、片山

理事16名、監事2名、相談役2名、オブザーバー6名、欠席4名

敬称略

4. 議題

(1) 会長と三役会からの報告

- ・代議員の候補者について
- ・第10回定時総会及び意見交換会について
- ・第30回日本社会福祉士会全国大会・社会福祉士学会 東京大会について

(2) 各委員会報告事項に対する質疑

(事前送付資料によりご確認ください)

(3) 議事

- ・「統一的な相談窓口体制の推進」への協力依頼について
- ・入会促進キャンペーンについて(意見交換)

5. 議事録

○出席者の確認

事務局次長より、現在、対面及び Zoom による出席者 16 名 定款第 34 条により定足数に達しております、本理事会は成立すると報告

また、Web 会議システム (Zoom) により、出席者の音声と映像が同時に他の出席者に伝わり、適時的確な意見表明が互いにできる仕組みとなっていることが確認されて、議案の審議に入った

事務局次長

本理事会には時期理事候補の方にもオブザーバーとして参加していただきたい、必要に応じご発言いただけます。それでは、会長より開会挨拶をお願いします。

会長

今日で一応最後となるが、最後までよろしくお願いします。

(1) 三役会報告

○代議員の候補者について

説明：事務局長

- 代議員候補者が少ない。皆様からも当該地区の会員に声かけをしていただきたい。よろしくお願いします。

(質疑なし)

○第 10 回定時総会及び意見交換会について

- 定時総会の流れについて

説明：事務局長

この後お昼を挟んで総会を行う。議題、報告等は総会資料の通りである。総会後、会のあり方について意見交換会を行う。

- 意見交換会について

説明：副会長

三役会でも議論したが、出席者からもテーマを募集したい。

(意見)

- 社会福祉士として活躍している事例を出してほしい。
- 成功体験を話してほしい。
- 社会福祉士になってよかったですこと、地域の課題を話してほしい。
- 会に参画する方向で意見を言ってほしい。
- 会員の意見を吸い上げる仕組みを話してほしい。

副会長：ありがとうございました。参考にさせていただきます。

○第 30 回日本社会福祉士会全国大会・社会福祉士学会 東京大会について

理事会資料 4-1 から 5-12 に沿って下記説明：事務局長

- 来週土曜、日曜、東京で開催される。前日まで申し込みを受け付けること。若干空きがあるとのこと、当会監事の研究発表もある。ぜひ一緒に行きましょう。

○2022年度「正会員にたいする活動助成制度」募集要項

- ・ 資料にあるとおり「正会員にたいする活動助成制度」が日本社会福祉士会総会で承認され、7月から募集が始まった。新しく始める活動に使えるので案内する。

事務局次長

各委員会報告の前に、事務局員の退職についてお知らせする。

会長：長い間働いてもらつた。お疲れさまでした。

(1) 各委員会報告事項に対する質疑

事務局次長

各委員会報告事項含め、要点を絞った報告をお願いする

(総務委員会企画部会)

説明：部会長

- ・ 報告は資料の通り。地域集会にぜひご参加いただきたい。司法と福祉の連絡協議会には司法福祉委員会からも参加をお願いする。

(質疑なし)

(総務委員会広報部会)

説明：委員長

- ・ 資料の通りである。点と線で新理事の紹介を行う。発行スケジュールもご参照願いたい。今回初めて広告も載る。次回外部理事にも記事をお願いしていく。

(質疑なし)

(研修委員会)

説明：委員長及び委員

- ・ いよいよ基礎研修ⅠⅡⅢが始まる。予算通りの執行の見込みである。

(質疑なし)

(ぱあとなあ運営委員会)

説明：委員長

- ・ 資料の通りであるが、運営委員会の議事、報酬助成の審査など疑問点があればお寄せいただきたい。被後見人が引っ越したことで自治体の報酬助成がいただけない事例があった。再審査請求をしている。後ほど運営委員15人分の承認をお願いしたい。

(質疑なし)

(司法福祉委員会)

説明：委員長

- ・ 資料の通り。第一回委員会を開催した。千葉市基幹相談支援センターの入口・出口支援も勉強させていただいた。

(質疑なし)

(災害対策委員会)

説明：委員長、副委員長

- ・ 石川県で震度 6 弱の地震があった。今後必要な情報があれば伝えていく。災害について士業間での意見交換がった。災害ボランティア団体の意見交換会は日程の再調整となつた。

(総合相談委員会)

- ・ 特になし

(2) 議事

事務局次長

それでは、議事にうつる

(事務局)

説明：事務局長

- ・ 入会促進キャンペーンについては、今年度の新入会 58 名中の 4 名が対象者である。ご確認をお願いする。
- ・ 統一的な相談窓口体制の推進について内閣府から協力依頼がきている。7 月分は 3 日間しか検討期間がなかったので見送った。8 月に再度依頼あつたらどうするか検討しておきたい。具体的には電話相談のシフト表を作つて提出するものでさる。方向性だけでも出したい。窓口は日本会であるが、質問等は直接内閣府にしてほしいとのことだった。よりそいネットワークとも似ている。

(質疑)

- ・ 基本的なスタンスとして積極的に取り組んでいくべきかと思う。今回意思決定をしておき、総会後の新体制下でもスピーディに対応できたらよい。
- ・ 当会で内閣官房とやり取りできればそれも良いと思う。
- ・ 国から言わされたから似たようなことを似たような組織がやるのはどうか。
- ・ 誰が相談員をするのか、できるのだろうか、8 月の様子を見て、新体制で検討していくべきのではないか。
- ・ 市町村の重層的相談体制もある。いろんな論点があるがポイントを絞つて議論した方がよい。
- ・ 担当者を想定していないと決めるのが難しいのではないか。
- ・ 関東ブロックの会合では、誰も手を挙げなかつた。どこで誰が電話を受けるのか。事務局に詰めて電話を待つのか。転送アプリを使わないと受ける事務局の負担もある。とりまとめの費用も出ない。やってもよい人はどれくらいいるのだろうか。聞きたい。挙手をお願いする。

(多くの挙手あり)。

- ・ できそなうので、新体制で決定すればよいのではないか。
- ・ ここでは基本的な意思を確認し、詳細は三役か専任理事に一任すればよい。
- ・ ほかに情報はないのだろうか。もう少し情報を集めてからでよいのではないか。日本会の動きも知りたい。行うとしてどの部分を担うのか。時間枠の指定ができるかもしれないが情報が足りない。

事務局次長：積極的に参加していく方向でよい方は挙手をお願いしたい。

(挙手多数)

- ・ やつてみるリスクはあまりないのでないか。

- ・ 深刻な内容の電話もあると想定した方が良い。
- ・ その通りだと思う。2人態勢で電話を受けた方が良い。今は情報不足であり、次期体制で検討をしてほしい。
- ・ まだ材料がそろっていない。多数決で決めるべきではない。内閣府の意図もわからない。
- ・ 8月の理事会を待てない時だけ、緊急対応的に3役会に対応を一任いただければよいと思う。
- ・ 材料を集めしていくが、新体制の下、三役に一任で承認いただけるか。
- ・ 三役会で決められなければ改めて理事会で議論をお願いする。

事務局次長：ではこの件三役に一任いただくことについて挙手を求める。→賛成多数とみとめ三役一任とすること可決した。

5月 6月の新入会について

説明：事務局長

- ・ 5月 6月の新入会員 22名の入会について承認を求める。

事務局次長

- ・ 新入会員 22名について承認賛成の方は挙手をお願いする。

→全員賛成

これにより 22名の入会は承認された。

事務局次長

- ・ ぱあとなあ新役員 15人の承認について賛成の方は挙手をお願いする。

→全員賛成

これによりぱあとなあ新役員 15名は承認された。

事務局次長

- ・ 刑事司法福祉委員会マッチング支援のフォーマット（用紙）についての承認に移る。

（質疑）

会長：療育手帳A、Bの表記の方がよいのではないか。

委員長：県によって違う。東京は愛の手帳である。表記に反映させていただく。

事務局次長：用紙の変更の上であらためて承認を求める。

→全員賛成

これにより刑事司法福祉委員会マッチング支援のフォーマット（用紙）は承認された。

- ・ 入会促進キャンペーンについて

説明：事務局長

今年度新入会 58名あった。入会を認めるだけでなく、活動参加への呼びかけをする役割も役員にあるのではないか。

（質疑）

- ・ 入会後はどのようなお知らせをしているのか。
- ・ 入会手続き完了、直近の広報誌発送、点と線のメール配信有無確認、会員名簿に掲載有無確認、広報誌メール配信希望者は地域集会のお知らせを受取れる。
- ・ 地域集会先では、地元の関係機関に入会促進のチラシも配りたいという希望もあった。チラシを用意できなかった。予算上できるのか。

- ・ 地域集会のあり方は別に議論した方がよい。
- ・ 入会促進キャンペーンについては、入会したら会長から手紙が届くなどの対応はどうか。
- ・ 入会しても何も反応ないのは良くない。会からのアプローチが必要である。せっかく入った人に対して返しているものが少なかったと思う。入ってよかったですと感じてもらう会にしたい。
- ・ 入会促進についての費用は、三役会はじめ理事会で承認取る等、予算建てていない項目については、予備費もあるので機動的に使ってよい。
- ・ 入会のメリットが伝わっていない。専門職として自分を磨き上げていきたいという人は、現場で尊重される雰囲気も大事ある。
- ・ 動画や I C T を活用した方し、受験する前から社会福祉士会とコミュニケーションする場があるとよい。合格したら祝い等。

事務局長

多くの意見をいただいた。三役会でも集約し今後も検討していく。メールアドレスも共有しているので今後もご意見を。

事務局次長

以上で、第2回理事会を終了する

12:15 閉会